



## こまえ平和フェスタ2022

### 3年ぶりに観客を入れて開催します

西尾真人

こまえ平和フェスタ実行委員会の役員は珍しく留任、昨年に引き続き、実行委員長大熊啓さん、副実行委員長佐久間均さんと私、西尾です。昨年のユーチューブによるオンライン開催に成功した直後から、今年の企画を始動しています。

今年の「こまえ平和フェスタ2022」は西河原公民館ホールにて8月21日(日)午後2時開演 1時開場で実施します。定員は200名強のところですが、先着100名に絞ります。8月1日から予約受付をします。ユーチューブによるオンラインも同時に実施します。情報保障として、手話通訳と保育(事前申請:1歳児から未就学児)も行います。

今年は私たちの活動目的である狛江市平和都市宣言の40周年に当たり、それを記念した企画にすることが早くから決まりました。その後、ロシアによるウクライナ侵略があり戦争の悲惨さと核兵器の恐ろしさを世界に突き付け、延期されていた国連の核兵器禁止条約第1回締約国会議が6月に、8月には核不拡散条約再検討会議(NPT)が開かれます。

こうしたことも背景に、テーマは「戦争も核兵器もない世界へ～市民からの声と行動を～」です。

メインの講演者は元広島市長の秋葉忠利さんを広島からお呼びしました。ウィーンで行われた6月の締約国会議に参加し、最新の国際的な核兵器廃絶の運動などを語っていただけるかと思えます。



また、狛江市平和都市宣言が全会一致で決められた頃のお話やその後の関連した方々のお話なども予定しています。

今年の朗読劇はグッと趣向を変えています。気象研究者の増田善信さんの実体験を基に「天気予報が消えた日」(二階堂まり脚本・演出)を青年たちが演じてくれます。

合唱もあります。是非とも、西河原公民館であるいはユーチューブをご覧ください。

### 展示は

中央公民館2階ショーケースにて  
8月17日(水)～31日(水)、  
西河原公民館1階ギャラリーにて  
8月20日(土)～28日(日)

平和宣言10周年を記念した作文コンクール優秀作品集「平和っていいなあ 平和ってどんなこと?」という冊子(註)(1992年度、市内小・中学生から約750編の応募があり、その中から32編を優秀作として文集にされ、1000部印刷)から数名の方のインタビューを展示予定です。その他に、これまで何度か使わせていただいた紙芝居「戦争と狛江の子ども達」の枚数を増やして展示する予定です。

また、公募の絵手紙、川柳、俳句、短歌と空襲・原爆写真、沖縄の基地・東京の基地、そしてサッカーサポーター・ツンさんの被災地支援活動(毎年違うところに支援活動をしている)を予定しています。展示も見逃すことの無いようお願い致します。(次頁に続く)

(前頁より続く)

毎年のお願いで恐縮ですが、今年は規模が小さい割に費用が大きく、費用面でもご協力をよろしくお願いいたします。

註：わずか30年程度前ですが、当時の資料を探すのは至難でした。やっと見つかったのは10周年記念平和作文コンクール優秀作品集です。図書館に1冊残されていたことで目にすることができました。1992年～1997年まで毎年、広島ないし長崎に「平和のたび」として記念式典への参加など市民を派遣していました。当時の感想文など市の担当職員の方が一生懸命に探してくれたのですが、残念ながらすべて破棄されたようだとのことで、誰が派遣されたのかも全く分かりませんでした。日本は記録を、歴史を大切にしない国であることを実感しました。

## 改憲の動き 加速のおそれ

## 参議院選挙の結果

“改憲勢力”が3分の2を超えた

衆議院(2021年10月)				参議院(2022年7月)				
465*2/3=310				248*2/3=165.33				
					非改選	今回 当選	合計	
自民	261	334	345	自民	56	63	119	167
公明	32			公明	14	13	27	
維新	41			維新	9	12	21	
国民	11	国民		5	5	10	177	

岸田首相  
「改憲発議のための『3分の2』  
結集のために努力を続けて、でき  
るだけ早く発議をし、国民投票に  
結び付けていく」  
(7月10日夜、文化放送の番組で)  
(朝日新聞より孫引き)

# 自民党の改憲案

## 九条部分を抜粋

### 第二章 安全保障

#### (平和主義)

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては用いない。

#### (国防軍)

第九条の二 我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。

### 問題点

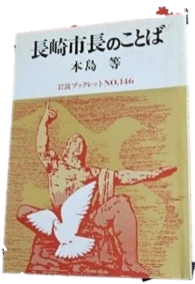
自民党改憲案は、これまで海外での武力行使の歯止めとなってきた現憲法9条2項(戦力不保持、交戦権否定)を削除することで、海外での武力行使を無条件に可能にするものです。戦争法で「限定的集団的自衛権」を可能としただけでなく、文字通り無限定の集団的自衛権行使を可能にするものです。

自民党改憲案の新9条2項について「自民党改憲案Q&A」は、政府が集団的自衛権の行使を禁ずる理由を「現行9条1項・2項の全体」の解釈によることとしていることから、戦力不保持規定を削除したうえ「新2項」を設け「自衛権の行使に何らの制約もないように規定」したという念の入れようです。

「専守防衛」の自衛隊“追認”どころか、無条件の海外での武力行使を可能とする。ここに自民党改憲案の最大の狙いがあります。

岩浪ブックレット

『長崎市長のことば』 本島 等 著



狛江中央図書館で偶然見つけました。

このブックレットは、例の本島元長崎市長による「天皇の戦争責任」発言（1988年）が大きな話題となり、彼のもとに全国からすさまじい脅迫の電話や手紙等が届き、一方では激励の声も寄せられていた1989年頃のインタビューをまとめた内容です。

私が感銘を受けたのは、次の二点でした。

① 彼は、この発言を県内外の保守層から撤回するよう求められ、自民党県連顧問の職を解任せよとの声があっても自分の発言を曲げなかったこと。（彼は自民党県会議員を20年。その後、無所属で市長当選。自民党県連の要請で顧問となる。発言撤回要求の後、自ら顧問職辞任届を提出している。）

② 太平洋戦争について、日本の被害だけでなくアジアへの侵略による加害の歴史を日本人は忘れず心に留めなければならないということも強調していたこと。

以上の二点については、市職員に折りにふれて語った彼の次の言葉でよくわかります。

「天皇について自由に発言できないようでは、日本の民主主義の発展は期待できないと思う。」「過去の歴史への反省なくして、将来はない。平和は黙っていてあるものではなく、努力が必要。」

この他に非核三原則について、戦中派のこだわり、教育者としての反省、カトリック信者としての生い立ち等々、興味深い話が多々書かれています。

このインタビューの翌年、彼は右翼の銃弾を受け重傷を負いました。

平和の危機を身近に感じる今、こうした保守政治家がいたことに思いを馳せ、その歴史観の水脈を枯らしてはならないと思わせる一冊です。ぜひ一読をお薦めします。

（広木 澄子）

『9条を活かす日本

15%が社会を変える』

伊藤千尋 著（新日本出版社刊）

我らが狛江在住のジャーナリスト 伊藤千尋氏の著書をご紹介します。

私たちの住む世界、厳しい状況が見えてきますが、友人に借りた伊藤氏の著書を読んでみて・・・「いや～、確かに不安が広がることもあるけれど、日本国内にも沢山の9条の碑が、世界のあちこちにも9条の碑を建て、平和への動きを見せている人々がいる。何となくワクワクしますね。私たちだったら何ができるか、何がしたいか、色々おしゃべりしたいなア。」



ご意見を寄せてくださいね！ 世話人2、3人が本をお貸しできます。この本の出版社の人もいて注文できます。遠慮なくお問い合わせ下さい。（山本 嘉子）

映画紹介

『教育と愛国』

監督：斉加尚代

「礼儀正しい挨拶はどの挨拶でしょうか」というナレーションから始まり、小学生が「おはようございます」と言いながらお辞儀をする形と、言った後でお辞儀をする形、お辞儀の後で「おはようございます」という形が映し出された。これは「道徳」教科書に載っているものだ。「道徳」が教室で、「道徳」という「教科」で教えられるものとなったことで、教科書も作られている。この教科書の中身のおかしさが続いて紹介される。こんなおかしいことが起こっているのは「検定制度」によるものだというので、この制度の問題点が扱われていく。特に重大な問題が起きているのが「歴史」分野においてである。「慰安婦」など加害の問題、沖縄戦、国づくり神話などなど。検定によって学会の定説が排除され、内閣の見解に沿った内容に書き替えさせられている。それに抗した教科書会社が倒産に追い込まれたり、良識的な教科書を採択した学校へ大量の抗議ハガキが送り付けられたり、ひどい実態が収められている。是非ご覧いただきたい。（小俣 三郎）

# 集会などのご案内

## 総がかり行動 署名宣伝行動

「9条改憲 NO! 全国統一署名」  
7月22日(金) 18時～ 新宿駅西口

## 【第82回東アジア近現代史連続セミナー】

「ロシアのウクライナ侵攻と欧州の変動  
—そのアジアへの影響も含む」  
植田隆子さん(外務省 EU 代表部元次席大使・  
上智大学講師)  
日時 7月23日(土) 13:45～16:30  
会場 ココネリ3階 ホール西(西武池袋線 練  
馬駅 北口隣接)  
参加費 700円(高校生以下無料)

## 9条の会事務局主催学習会

新たな改憲の危機と九条の会運動の意義  
【日時】: 7月29日(金) 18時～20時45分  
(開場17時50分)  
【場所】: 東京しごとセンター 地下2階講堂  
千代田区飯田橋 3-10-3 Tel 03-5211-2307  
【講演1】: 参院選の結果と改憲のゆくえ  
渡辺 治 (60分)  
【講演2】: 改憲原案作りを急ぐ憲法審査会  
高田 健 (60分)  
【参加費】: 一般1,000円 学生300円  
主催: 9条の会

## 事務局より

### 『ニュースレター』を紙媒体から電子媒体へ替えます メールアドレスの登録を!

当会は2001年に発足して以来20年余が経ちました。この間、講演会や映画会、集会などを開催し、会費会員約80名、会報受信者約700名という多くの方々のご支援を受けて活動をしてまいりました。

この度『ニュースレター』の発行形態を変更することにしました。紙媒体の『ニュースレター』は2か月～4か月ほどの間隔を置いて発行してきましたが、これでは刻々と変化する政治情勢に対応できておりませんでした。そこで、電子媒体のEメールで単発の情報でも時宜を得て発行できるようにすることにしました。

したがってメールアドレス(アカウント)をお持ちの方にはメールアドレスを登録していただきますようお願い致します。次の小俣のメールアドレス宛にお知らせください。

[komae.omata@tb3.so-net.ne.jp](mailto:komae.omata@tb3.so-net.ne.jp)

なお、メールアドレス(アカウント)をお持ちでない方は当会のホームページにアクセスしてください。ホームページのURL(インターネット上の住所)は以下の通りです。

<http://komae-kenpou.clean.to/>

あるいはインターネットの検索窓に「こまえ九条の会」または「平和憲法を広める狛江連絡会」と入力することもアクセスできます。

さらに上記2つのいずれもできない方は自宅住所宛てに紙媒体の「メール」を3か月分ほどまとめてお送りいたします。お申し出ください。

### 『ニュースレター』『メール通信』の受け取り辞退

高齢化などの理由で会員通信の受け取りを辞退されたい方はご遠慮なくお申し出ください。